

今回のエピソードは先日 Facebook でも書かれていましたね。いつも思うのですが、ほんと坂井先生の言葉には愛がありますよね。前にも言うたかな(^_^;) 視覚支援やスケジュールの提示も重要ですが、それプラス「子どもの気持ちになって考える」と言う事がとても重要だと思います。僕は基本、脳の構造が子どものままなので・・・だから子どもが異常に寄ってくるのかと・・・(^_^;)と言う事ではじまりはじまり～ 久田

第 43 回『わかるように伝えていますか』

香川大学 坂井 聡

また、エピソードに戻ります。以前こんなエピソードがあったのです。
少し内容は変えていますが、本質は変わらないので参考になると思います。

以前、妹の G パンを隠したという自閉症のある兄 A 君と私との会話の中でわかったことです。
A 君は小学校 5 年生です。虫博士や鳥博士と呼ばれるくらいの、生き物好きです。

私：「〇〇くん、妹の G パンを隠したことがあったよね」
A：「19〇〇年、〇月〇日だね」
(私・・・すごい日にちまで覚えている・・・)
私：「なぜ、妹の G パンを隠したの？」
A：「それはね、ことばを知らなかったからなんや」
私：「へー、それってどういうこと。ことばを知らなかったん？」
A：「うん」
私：「どんなことばをしらんかったん？」
A：「それはねー。うらやましいということば」
私：「へー、うらやましいということばを知らなかったから隠したん？」
A：「そう。だって、だからうらやましいって言えなかったし、隠したんや」
A：「だからねえ。もう隠したりすることはないんや。なぜならば、なぜかというとねー。うらやましいということばを覚えたり、知ってるから」
私：「へー。そうなんや、言いたいことがあったんやねー」
A：「そういうこと。坂井先生今日ね、学校で〇〇くんがあばれとったんや」
私：「それで」
A：「先生に叱られとった。」
私：「叱られとったん？」
A：「でもね、それはねー。〇〇くんは、言いたいことがあったんやと思うんやー。でも、たぶん言いたいことばが見つからなかったからだと思うんよ。」
私：「そうなんや、何か言いたかったんかなあー」
私：「何て言いたかったんかな」
A：「それはねー、ぼくは、〇〇くんじゃないからわからんのやー」

すごい会話だと思いませんか。子どもたちはよくわかっています。

ことばの意味を知るということは、とても大切なことだと思います。そして、それを使えるようになるということとはとても大切なことです。

子どもの行動を見たとき、そこに吹き出しが見えるようになれば、いいと思います。そうすると、何が言いたかったのかわかり、その言葉の使い方を指導できますよね。

子どもの行動には必ず意味があります。問題行動と呼ばれる行動つまり、周囲の人に受け入れられないような行動のことですが、そこから、何が言いたかったのか考えてみるのが重要です。だって、その行動が人を困らせようと思ってやっているのではないのです。表現することばを知らないから行動で示しているということなのです。

小学生でもわかっていること、大人もしっかり理解すべきですね。

いいエピソードだったでしょ。

坂井聡先生の紹介

(プロフィール)

香川大学教育学部卒業 金沢大学大学院教育学研究科修了、香川大学教育学部附属養護学校など養護学校教諭を経て、現在香川大学教育学部障害児教育コース准教授 1997 年 自閉症のコミュニケーション指導で辻村奨励賞受賞 (著書)

暮らしの中のコミュニケーション (やまびこの里) クラブルームコミュニケーション (こころリース出版会) 自閉症や知的障害をもつ人とのコミュニケーションのための10のアイデア (エンパワメント研究所) など